



第5回JACI/GSCシンポジウム開催 6月2・3日 神戸で

ANAクラウンプラザホテル 神戸

主催：公益社団法人 新化学技術推進協会

シンポジウムの参加申し込みはホームページから <http://www.jaci.or.jp/>

第5回JACI/GSCシンポジウムが、公益社団法人新化学技術推進協会(JACI/Japan Association for Chemical Innovation)の



JACI会長 高橋 恭平

主催で6月2日・3日の両日、ANAクラウンプラザホテル神戸で開催される「新たなグリーン・サステイナブル ケミストリーの幕開け」をテーマに、昨年の国際会議と併せて開催した同シンポジウムのテーマおよび「東京宣言2015」として世界に発信した内容を踏まえ、推進していくために、産学官の関係者が講演・研究発表・活動展示を通して、連携を深めるという意図を込め、出展する場となる。

新化学技術推進協会(JACI)は、産業の国際競争力を高め、社会の持続的発展と国民生活の向上に寄与するために、新たな化学技術の原動力とする技術革新の推進を図る公益社団法人であり、化学産業のみならずバリューチェーンに沿った他産業から90の企業が正会員として、また化学に関わる34の研究機関・学会・団体などが特別会員として参画している。イノベーションへの特長を特徴としている。

JACIの最大のイベントであるJACI/GSCシンポジウムの今年のテーマは「新たなグリーン・サステイナブル ケミストリーの幕開け」である。これは「グリーン・サステイナブル ケミストリー」の新たな発展へをテーマとして昨年12年ぶりに東京で開催した「東京宣言2015」を世界へ発信した合同会議「第4回JACI/GSCシンポジウム」第7回GSC東京国際会議」の趣旨の展開を図るものである。2016年の現在、実体経済の成長が希求され、そのキーワードがイノベーションであることは広く共有されている。とくに、長期的な視点から、持続可能なパラダイムを可能とする高い水準のイノベーションが求められている。その展望を切り開いていくという意図が今年のテーマに込められている。

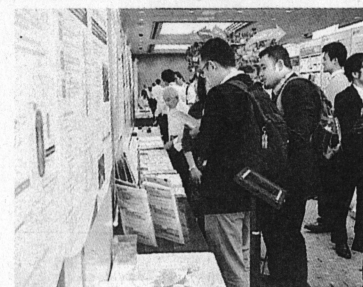
新たなグリーン・サステイナブル ケミストリーの幕開け



一連の講演の冒頭にシンポジウムの基調を形作る講演として、小宮山三穂総合研究所理事長による「日本は世界に先駆けて量的な豊かさから生活・人生の質的豊かさの追求へと成長の質的変革をなしとげるべきである」という主張が「プラチナ社会」という言葉で語られ、引き続いて、6月2日・3日の会期中、産学官のキーパードによる10の基調・特別・招待などの講演が企画されている。内外の化学企業からは、地球温暖化などの様々な社会的な課題の解決やニーズの充足を目指す研究開発と新規事業の在り方や取り組み、さらには本業社会という具体的な目標に向けた取り組みが語られる。

講演と並ぶ企画が6月3日のEXHIBITIONであり、シンポジウムのテーマを体現する場を創出する場として、関係者を知り合う、刺激を

受ける、連携を深める場として、産学官の研究者・企業・機関・団体に声を掛けての企画である。



第15回 GSC 賞発表

■ GSC 賞経済産業大臣賞、環境大臣賞... 東レ株式会社 ■ GSC 賞文部科学大臣賞... 名古屋大学
■ GSC 賞スモールビジネス賞... 株式会社ライトニックス ■ GSC 賞スモールビジネス賞... サイデン化学株式会社

2016年6月2日(木)		
時間	演題等	講演者(敬称略)
9:00	受付開始	
9:30	開会挨拶	高橋 恭平 (公社)新化学技術推進協会 会長
9:40	基調講演1『プラチナ社会に向けたイノベーション』	小宮山 宏 株式会社三菱総合研究所 理事長
10:30	招待講演1『BASFにおける技術革新「Globalおよび日本での研究開発の取組み」』	高橋 隆一 BASFジャパン株式会社 尼崎研究開発センター長
11:15	特別講演1『地球環境への貢献を目指したカネカの事業及び新規事業開発』	永野 廣作 株式会社カネカ 取締役副社長
11:55	休憩	
13:00	基調講演2『素材産業をとりまく現状とGSC関連政策の推進』	福島 洋 経済産業省 製造産業局 審議官
13:20	招待講演2『セルロースナノファイバー：森林バイオマスから先端材料へのマテリアルストリームの構築に向けて』	磯貝 明 東京大学大学院 農学生命科学研究科教授
14:05	招待講演3『メソポーラス有機シリカの光捕集アンテナ機能と人工光合成の構築』	稲垣 伸二 株式会社豊田中央研究所 シニアフェロー
14:50	休憩	
15:10	招待講演4『典型元素化学が拓く未来分子材料』	山口 茂弘 名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所 教授
15:55	特別講演2『水素社会の幕開けー長期的視野を』	村井 真二 岩谷産業株式会社 中央研究所 所長
16:35	GSC賞・STGA表彰式	
17:30	レセプション	

2016年6月3日(金)		
時間	演題等	講演者(敬称略)
9:00	受付開始	
9:30	講演「JACI活動の紹介ーGSCの新たな方向性を踏まえてー」	井上 健二 (公社)新化学技術推進協会 事業統括部長
9:50	GSC賞3大臣賞、GSC賞スモールビジネス賞 受賞講演	
11:30	休憩	
12:30	EXHIBITION	学術ポスター発表、企業・団体紹介展示
15:00	招待講演5『革新的膜工学を核としたグリーンイノベーションの創出』	松山 秀人 神戸大学大学院 工学研究科 教授
15:45	招待講演6『環境負荷低減を実現する蓄電システムの材料開発』	石川 正司 関西大学 化学生命工学部 教授
16:30	ポスター賞表彰式	
16:50	開会挨拶	石塚 博昭 (公社)新化学技術推進協会 副会長

column ~GSCの新たな方向について~

JACIは2015年3月に、GSCの定義・活動指針・事例の表現をより包括的な視点から見直しました。とくに具体的な内容を説明するための事例では大分類として5つを設け、各々、目的とする社会的貢献とその達成手段との組み合わせで表現しています。そして、それらの取り組み対象において、製造時ならびに消費・使用時、社会的課題、さらに長期的な課題へと順次広げたとし、また共通・基盤的項目も設けています。

の基盤としてのGSCの在り方にふさわしいものです。JACIとしてのこのような準備を経て、JACIが主催した2015年7月のGSC国際会議「GSC-7」の場で「東京宣言2015」が採択されました。同宣言には先に述べた包括的・立体的なGSCの目的と役割、および達成手段としての連携の重要性が、グローバルな視点で盛り込まれています。

今回のシンポジウムにおけるEXHIBITIONの目的はこのような背景

長期の視野を」		1371 一	名古屋大学大学院 工学研究科 教授
賞・STGA表彰式			
レセプション			
2016年6月3日(金)			
演題等	講演者(敬称略)		
開始	「JACI活動のご紹介ー GSCの新たな方向性を踏まえてー」		
	井上 健二	(公社)	新化学技術推進協会 事業統括部長
賞3大臣賞、GSC賞スモールビジネス賞 受賞講演			
休 憩			
EXHIBITION	学術ポスター発表、 企業・団体紹介展示		
講演5「革新的職工学を核とした グリーンイノベーションの創出」	松山 秀人	神戸大学大学院 工学研究科 教授	
講演6「環境負荷低減を実現する 蓄電システムの材料開発」	石川 正司	関西大学 化学生命工学部 教授	
ター賞表彰式			
挨拶	石塚 博昭	(公社)新化学技術推進協会 副会長	

umnn ~GSCの新たな方向について~

は2015年3月に、GSCの
加指針・事例の表現をより包
含から見直しました。とくに
3を説明するための事例では
て5つを設け、各々、目的
的貢献とその達成手段との
で表現しています。そして、
り組み対象において、製造
・消費・使用時、社会的課題、
的難課題へと順次広げても
た共通・基盤的項目も設け

の基盤としてのGSCの在り方にふ
わしいものです。JACIとしてのこ
のような準備を経て、JACIが主催
した2015年7月のGSC国際会議「G
SC-7」の場で「東京宣言2015」が
採択されました。同宣言には先に述べ
た包括的・立体的なGSCの目的と役
割、および達成手段としての連携の重
要性が、グローバルな視点で盛り込ま
れています。

今回のシンポジウムにおける
EXHIBITIONの目的はこのような背景
から、従来以上のふくらみを持ったも
のへと推敲されたものであり、また今
回発表の第15回GSC賞もその見直し
された活動指針・事例に基づいてなされ
たものとなっています。

持続可能な発展のもと、人間社会の
長期的課題に対して社会実装をともな
って取り組み続ける化学産業界主導の
イノベーション推進活動、その旗印と
してGSCの新たな方向があります。

参照 URL:
http://www.jaci.or.jp/gscn/page_01.html
http://www.jaci.or.jp/images/The_statement_2015.pdf



初にはフッ素・シリコン・ポリマー・高分子・複合材料の活用



引き続いて、6月2日・
3日の会期中、産学官のキ
ーパソンによる10の基調
・特別・招待などの講演が
企画されている。内外の化
学企業からは、地球温暖化
などの様々な社会的な課題
の解決やニーズの充足を目
指す研究開発と新規事業の
在り方や取り組み、さらに
は水素社会という長期的目
標へ向けた取り組みが語ら

れる。大学から
は化学および
学際領域にお
いて、森林バイ
オマスのセル
ロースナノフ
アイバー・ナ
変換による材
料資源化、多
孔性材料の新
規な光捕集ア
テナ機能によ
る人工光合成
への取り組み、
基礎的・典型
素化学から分
子材料技術
シースの応用
展開、膜工学
に特化した研
究拠点にかけ
るグリーンイ
ノベーション
創出への取組
み、および、
2次電池やモ
ーターなどの
材料開発とそ
れら電システ
ムを通じた社
会的貢献のビ
ジョンが示さ
れる。官から
は、福島経済
産業局管内の
産業局審議官
をとりまく現
状と、GSC関
連政策の推進
による素材
産業の将来展
望について基
調講演がなさ
れる予定であ
る。

大学・研究機関・企業に
おける研究内
容についての
ポスター発表
と、国内外の
企業・学協会
などの諸団体
のシンポジウ
ム・ワークショップ
に関する活動
紹介のポスター
・物販展示が
、会場の中で
一体となっ
てEXHIBITION
の効果が生ま
れるように配
置される。長
期的で重要な
社会的課題と
その解決に関
わる技術的視
点から、資源
・エネルギー
・環境・豊か
な生活・共通
基盤の5つの
分類が用いら
れている。

研究内容に関
わるポスター
発表の申し込み
は約400件、ま
た企業・団体
の活動紹介ポ
スターも約70
件とシンポジ
ウムの回数を
重ねることに
加えて、活動
の浸透が図ら
れる。情報提
供のみならず
、持続可能な
発展への仲間
作りの場とし
て機能したか
が、シンポジ
ウム成功の指
標となる。

第15回 GSC 賞発表

- GSC 賞経済産業大臣賞、環境大臣賞... 東レ株式会社 ■ GSC 賞文部科学大臣賞... 名古屋大学
- GSC 賞スモールビジネス賞... 株式会社ライトニックス ■ GSC 賞スモールビジネス賞... サイデン化学株式会社
- GSC 賞奨励賞... 住友ベークライト株式会社、地球環境産業技術研究機構、グリーンフェノール開発株式会社
- GSC 賞奨励賞... 鳥取大学 ■ GSC 賞奨励賞... 東京理科大学 ■ GSC 賞奨励賞... 量子科学技術研究開発機構

今年も9月からGSC賞の応募を開始します



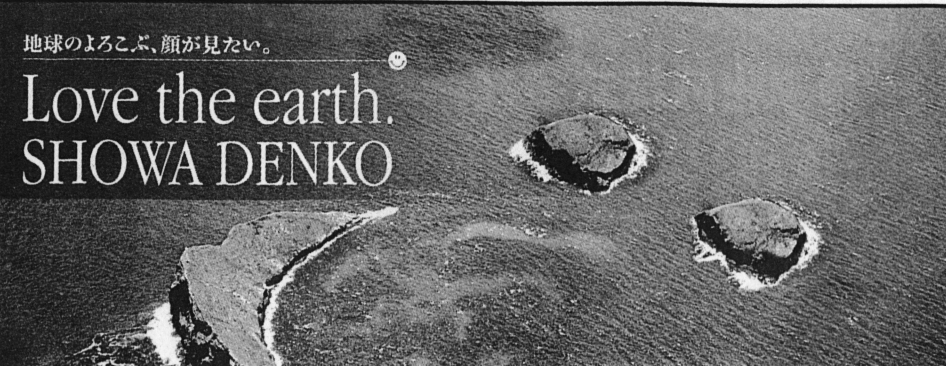
貢献が期待できる業績を表
彰するGSC賞奨励賞4件
が決まった。

今年の第5回JACI/
GSCシンポジウムで、6
月2日に表彰式、3日に受
賞講演が行われる。受賞案
件は次の通り。

【GSC賞経済産業大臣賞
環境大臣賞】
「高機能性透過膜の開
発」東レ株式会社
【GSC賞文部科学大臣賞】
「超臨界流体を用いた天然
物および環境関連物質の分
離・反応プロセスの開発」
名古屋大学 後藤元信
【GSC賞スモールビジネ
ス賞】
「植物由来の生分解性樹脂
を用いた採血針の開発」株
式会社ライトニックス
「粘着付与樹脂の乳化技術
とエマルジョン型粘着剤へ
の応用」サイデン化学株
式会社

【GSC賞奨励賞】
「植物由来フェノール製造
技術の開発」住友ベークラ
イト株式会社、地球環境産
業技術研究機構、グリーン
フェノール開発株式会社
▼低炭素社会の実現に資
する次世代蓄電池のための酸
化物系負極/鳥取大学 薄
井洋行
▼光エネルギーを用いた新
規機能性無機材料による環
境浄化/バイオ・農業応用
有用物質生産に関する研究
/東京理科大学 中田一弥
▼革新的なイオン伝導体を
用いた透析法による海水中
のリチウム回収技術/量子
科学技術研究開発機構 星
野毅

※GSC賞および同奨励
賞の事業・研究業績の概要
は本紙グリーンイノベーシ
ョン面で連載予定。



3力年の中期経営計画が
始動した。最終年度の18
年度に売上高110億
円、経常利益7億、経
常利益率6%以上を目指
す。

「前期は3億6000万
円の利益となった。写
真材料および記録材料はイ
ンスタント写真用材料や
イメージング材料が好調
だ。」

「6.6%増
700万
円増
減収減益の予想を立て
た。」

「オレオケミカル製品は
繊維向け樹脂誘導体や界
面活性剤向けアルコール
は低調だったが、医薬・
化粧向けグリセリンは
堅調。機能性化学品では
基礎は続くとして売上高
275億円、営業利益3
億6000万円、経常利
益3億9000万円、純
利益1億8000万円と
減収増益を予想。」